

図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

(1 / 6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

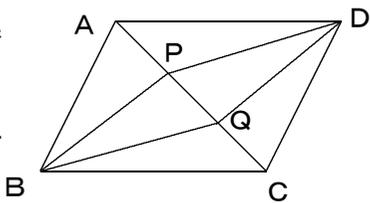
条件2を示す証明

四角形は 2組の対辺がそれぞれ等しい ならば平行四辺形である。

- ●★解法の技術★の学習のしかた● —
- (1) 下の答案を理解し、「考え方」を覚えましょう。／覚えたら、.....
 - (2) 模範解答を見ないで、「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。
(答案を見ながら書くと勉強になりません。一度、「考え方」を頭の中に入れることが大切です。)

★解法の技術★

図において四角形 $ABCD$ は平行四辺形で P, Q は対角線 AC を3等分する点である。
このとき、四角形 $PBQD$ は平行四辺形になることを証明しなさい。



【考え方】四角形 $PBQD$ は、 $BP = DQ$ 、 $PD = QB$ ならば平行四辺形である。だから、 BP と DQ が対応辺となる三角形を見つけ、この三角形の合同を証明すれば $BP = DQ$ が導ける。
同様の手順で $PD = QB$ が導ける。

[考える手順]

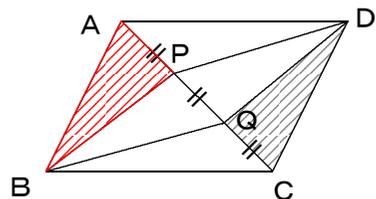
- 1** 三角形の設定
- 2** 合同の証明
(3つの条件と理由)

[答案]

$\triangle ABP$ と $\triangle CDQ$ において

- ・ $AP = CQ$ (仮定) ...①
- ・ $AB = CD$...②
(平行四辺形の対辺の長さは等しい)
- ・ $\angle PAB = \angle QCD$ (平行線の錯角は等しい) ...③

①, ②, ③から、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABP \equiv \triangle CDQ$



(次のページへつづく) ↗

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【図形の性質 No. 13 (1 / 6)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

➡ (前のページからのつづき)

③ 対応辺を示す
* 対応辺は等しい

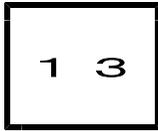
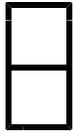
合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $BP = DQ \dots \textcircled{4}$

④ もう1組の合同から対応辺を示す
(合同の証明は不要)

同様に、 $\triangle APD \equiv \triangle CQB$
 $PD = QB \dots \textcircled{5}$

⑤ 結論を書く
(平行四辺形となる理由も添える)

④, ⑤より、2組の対辺がそれぞれ等しいので、
四角形 $PBQD$ は平行四辺形である。



図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

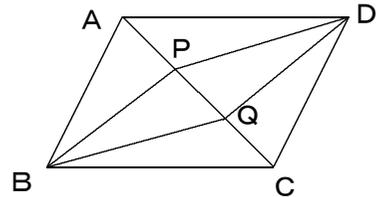
(2/6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

◇ 《2組の対辺が等しい証明》 **学力化** → /

-----★理解のチェック★-----

図において四角形 $ABCD$ は平行四辺形で
 P , Q は対角線 AC を3等分する点である。

このとき、四角形 $PBQD$ は平行四辺形に
なることを証明しなさい。



[考える手順]

1 三角形の設定

2 合同の証明

(3つの条件と理由)

3 対応辺を示す

* 対応辺は等しい

4 もう1組の合同か

ら対応辺を示す

(合同の証明は不要)

5 結論を書く

(平行四辺形となる

理由も添える)

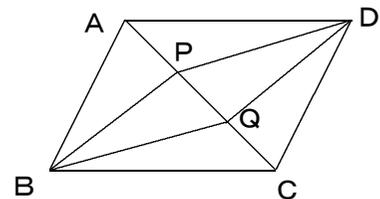
[答 案]

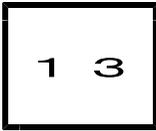
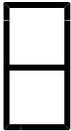


...①

...②

...③





図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

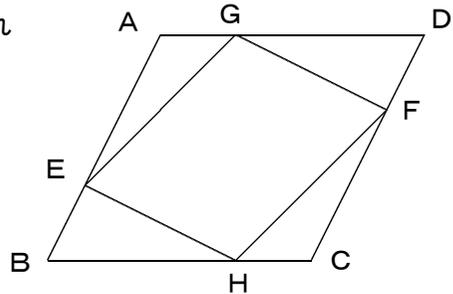
(3/6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

◇ 《2組の対辺が等しい証明》 **学力化** → /

★演習★【1】

□ $ABCD$ の辺 AB , CD 上にそれぞれ点 E , F を $AE=CF$ となるようにとり, 辺 AD , BC 上にそれぞれ点 G , H を $AG=CH$ となるようにとる。

このとき, 四角形 $EHFG$ は平行四辺形であることを証明しなさい。



【考え方】四角形 $EHFG$ は $EG=FH$, $EH=FG$ ならば平行四辺形である。だから, EG と FH が対応辺となる三角形を見つけ, この三角形の合同を証明すれば $EG=FH$ が導ける。同様の手順で $EH=FG$ が導ける。

[考える手順]

[答 案]

1 三角形の設定

2 合同の証明

(3つの条件と理由)



…①

…②

…③

3 対応辺を示す

* 対応辺は等しい

4 もう1組の合同か

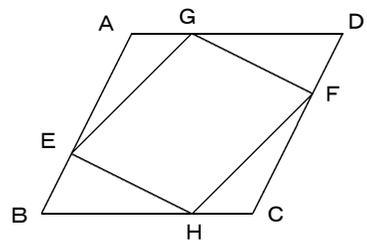
ら対応辺を示す

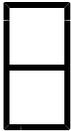
(合同の証明は不要)

5 結論を書く

(平行四辺形となる

理由も添える)





1 3

図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

(4/6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

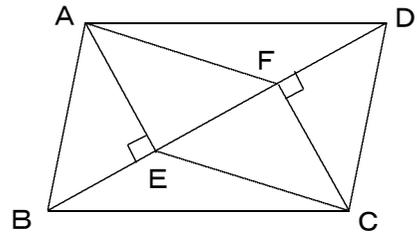
条件5を示す証明

四角形は 1組の対辺が平行でその長さが等しい ならば平行四辺形である。

◇ 《1組の対辺が平行で等しい証明》 **学力化** → / ,

★演習★【2】

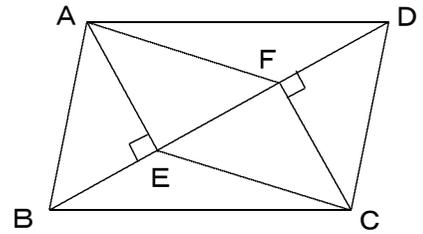
右の図のように、 $\square ABCD$ の対角線 BD に、 A, C からそれぞれ垂線 AE, CF をひくとき、四角形 $AECF$ は平行四辺形であることを証明しなさい。



【考え方】四角形 $AECF$ は $AE = CF, AE \parallel CF$ ならば平行四辺形である。

だから、 AE と CF が対応辺となる三角形を見つけ、この三角形の合同を証明すれば $AE = CF$ が導ける。

また、 $\angle AEF = \angle CFE (= 90^\circ)$ より、 $AE \parallel CF$ が導ける。



[考える手順]

[答 案]

1 三角形の設定

2 合同の証明

(3つの条件と理由)

3 対応辺を示す

* 対応辺は等しい

{ .
. .
. .

...①

...②

...③

(次のページへつづく) ↗

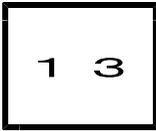
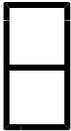
ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【図形の性質 No. 13 (4 / 6)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

↗ (前のページからのつづき)

4 対応辺の平行を
示す

5 結論を書く
(平行四辺形となる
理由も添える)



図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

(5/6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

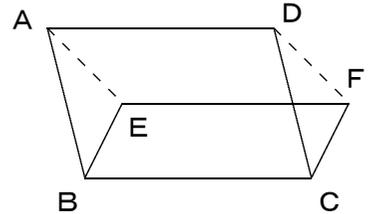
◇ 《1組の対辺が平行で等しい証明》 **学力化** → /

★演習★【3】

右の図で、二つの四角形 $ABCD$ 、 $EBCF$ は平行四辺形である。

このとき、四角形 $A E F D$ も平行四辺形となる。

これを証明しなさい。



【考え方】与えられている条件は、「二つの四角形 $ABCD$ 、 $EBCF$ は平行四辺形」です。これを使って四角形 $A E F D$ が平行四辺形であることを示すことになります。これらの条件から、平行四辺形になるための5つの条件のうち、どれが示せるかを考えます。

* 「平行四辺形の4つの性質」のいずれかを利用します。

[考える手順]

1 AD と BC の関係を

示す

2 EF と BC の関係を

示す

2 AD と EF の関係を

示す

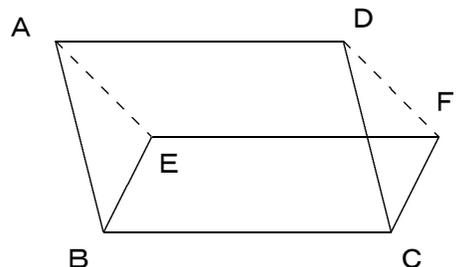
5 結論を書く

(平行四辺形となる理由も添える)

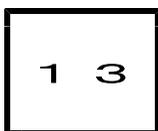
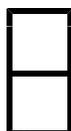
[答 案]

平行四辺形 $ABCD$ で

平行四辺形 $EBCF$ で



ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



図形の性質 2・平行四辺形

2 平行四辺形になるための条件 (その2)

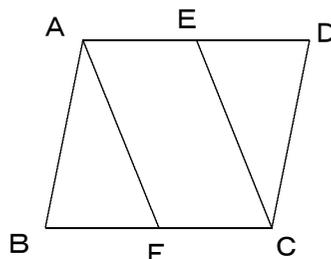
(6/6) ■ 平行四辺形であることの証明① ■

◇ 《1組の対辺が平行で等しい証明》 **学力化** → /

★演習★【4】

右の図のように、平行四辺形 $ABCD$ で、
辺 AD 、 BC の中点をそれぞれ E 、 F とし、
 A と F 、 C と E を結ぶと、四角形 $AFCE$ は
平行四辺形になる。

これを証明しなさい。



【考え方】与えられている条件は、「平行四辺形 $ABCD$ 」、「 E 、 F はそれぞれ辺 AD 、 BC の中点」の2つです。これらを使って四角形 $AFCE$ が平行四辺形であることを示すことになります。これらの条件から、平行四辺形になるための5つの条件のうち、どれが示せるかを考えます。

* 「平行四辺形の4つの性質」のいずれかを利用します。

[考える手順]

[答 案]

1 AD と BC の関係を

示す

2 AE と FC の関係を

示す

5 結論を書く

(平行四辺形となる
理由も添える)

